

地域での活動

中学校の土曜授業

5月28日(土)、**区立中学校の土曜授業に、ゲストティーチャーの一人として参加**しました。  
当日は、体育館にて全校生徒を対象とした授業。スペシャルオリンピックス<sup>(\*)</sup>のバレーボールチームとして、主任コーチである私が他の参加者(アスリート<sup>(2)</sup>とその家族、及びボランティア)に質問をする形で授業を進めていきました。



学校側の授業趣旨である、「心の中にある障害者への思い込みや決めつけに気づくとともに、(中略)誰に対しても公正・公平で偏見や差別のない社会を実現しようとする姿勢を培う」に対し、どこまで対応できていたかはわかりませんが、300人超の生徒の前で、アスリートは堂々と想いを述べてくれました。また、生徒達も、静かに、かつ興味を持って、話を聞いてくれたように思います。

**アスリートや生徒が新たな経験を積むことができるこうした機会は、今後も参加していきたい**と思います。  
(\*)スペシャルオリンピックス...知的障害のある人達に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織  
(2)アスリート...スペシャルオリンピックスのスポーツ活動に参加する知的障害のある人

プログラミング教育

3月26日(土)、社団法人主催の「**プログラミング教育指導者研修講座**」を受講しました。  
また、5月5日(木・祝)には、ヴァル研究所(杉並区高円寺)で開催された「**こどもの日1万人プログラミング**」に参加しました。  
コンピュータが身の回りに溢れている現在において、子供のうちからその仕組みに触れることや、プログラミング体験を通じて「論理的思考力」や「問題解決能力」を身につけていくことは、大切なことだと考えています。



「子供達が楽しみながら学べる」ための指導法を私自身も身につけ、今後、地域の大人として、**身近なところからプログラミング教育に取り組んでいきたい**と思います。

所属委員会  
変更

今年度(平成28年5月18日～)は、  
● 区民生活委員会 ● 文化芸術・スポーツに関する特別委員会  
に所属して活動することになりました。

次回の定例区議会(平成28年第3回定例会)は、9月9日(金)開会予定です。

区政に関する  
意見交換会  
開催 (入場無料)

- 第67回 9月22日(木・祝) 13:30～15:00  
久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室
- 第68回 9月28日(水) 19:00～20:30  
高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第一集会室

いつもと  
異なります

ぜひご参加  
ください。



意見交換会の内容

□ 杉並区政についての自由な意見交換

第3回定例区議会の議案等についてご紹介したうえで、特にテーマを絞らず、現在及び今後の杉並区政について、皆様のご意見をお伺いしたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。  
FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属)  
**岩田いくま 区政報告** 第51号(平成28年夏号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103  
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp  
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。  
趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。  
家族:妻、長男(13歳)、長女(11歳)、次男(8歳)。

記者会見からたった5日で公園廃止を決定

平成28年5月、「待機児童解消緊急対策」が示され、関連する補正予算が臨時議会にて審議されました。  
**保育施設の追加整備に異議はありませんが、進め方や建設予定地に問題があり、その是正を求めて私は反対しました。**

<待機児童解消緊急対策に関する経過(7月15日現在)>

日にち	内容
5月10日	・待機児童解消緊急対策を区が公表 <概要> ① <b>4つの公園</b> を含め、11の区立施設を保育施設に転用 ② <b>待機児童見込み最大565名にもかかわらず、1,141名分の定員増</b> ・議会運営委員会に、上記対策のための補正予算(公園内樹木の伐採費等)を提示
5月13日	待機児童解消緊急対策について、区長が記者会見
5月17日	区議会(総務財政委員会)において、補正予算を審議
5月18日	区議会(本会議)において、 <b>補正予算を採決(我が会派は反対するも、賛成多数により可決)</b>
5月18日～6月5日	保育施設に転用する11の区立施設について、近隣説明会を開催
6月6日～6月27日	・保育運営事業者の公募(選定は7月) ・公園整備工事(樹木伐採等)の入札開始(6/27)
7月11日	8月1日から公園閉鎖/工事着工を発表

テレビでも報道された久我山東原公園や向井公園等、**多くの区民(特に子供)が利用している施設が含まれていました。**

「緊急」なので「地域に愛されている公園でも廃止する」としながら、必要以上の定員確保となっています。(詳細は2ページ下段参照)

我が会派は「近隣説明会の後に採決(判断)すべき」として**継続審議を主張しましたが、賛成少数で否決**されました。

議会での議決後(つまり、**決まった後**)に、**近隣説明会が開始**されました。

保育運営事業者決定前に、公園内の樹木伐採等工事の入札が始まりました。

五日間!



「子供のための施設である保育施設整備(しかも必要以上の定員確保)のために、**子供達の利用が多い地域の身近な公園を潰す**」という判断は、果たして子育てしやすいまちづくりに適っているのでしょうか。また、**記者会見からたった5日で議会に判断を求め、区民への説明は「決まった後」というプロセスが、本当に正しい進め方**でしょうか。

**保育待機児童解消を目指すことに異議はありませんが、今回の方法は、進め方を含め、あまりに稚拙かつ強引**と言わざるを得ません。一連の経過を本当に残念に思います。

なお、私自身は現在まで、**公園を守るためにいくつもの代替案を提案して活動されている方々への支援・協力**(区政情報等の問い合わせに対する調査・報告や、区議の立場からの助言等)を、できる限り行ってきております。

## 一般質問

5月に示された「待機児童解消緊急対策」を受け、「公園行政」について、及び、「保育施策」について、6月1日(水)に本会議場で一般質問を行いましたので、その一部を抜粋します。

\* 一般質問の様子は、杉並区議会公式ホームページの本会議録画継ぎでご覧いただけます。

### 区政のあり方

#### (岩田いくまの質問)

面積や法規制等の点で保育施設を建設しやすいので、**利用実態や地域における意義に関わらず**、身近な公園を早急に廃止する、という区政のあり方が、区民の理解を得られると今でも思っているのか。

#### (区の方針)

「保育緊急事態宣言」を行い、区民の理解と協力を求めている。

#### (岩田いくまの見解)

例えば、右記2つの公園についての説明会における参加者数や開催時間を見て、「区民の理解を得た」といえるでしょうか。

	第1回		第2回	
	参加者数	開催時間	参加者数	開催時間
久我山東原公園	246名	16:30~19:00	<b>308名</b>	18:00~ <b>23:30</b>
向井公園	178名	18:30~22:00	146名	18:00~21:40



### 子育て環境と公園

#### (岩田いくまの質問)

一定の大きさを持つ多機能の公園だからこそ、多様な年代・世代が集まり、そこで**子供達は学校や家庭だけでは学ぶことができない「社会性」を身につける**。保育施設整備のためとはいえ公園を廃止することは、子育て環境の質を落とすと考えるが、見解は。

#### (区の方針)

子育て環境は、複数の社会資源の組み合わせにより整えられるものであり、今回の緊急対策が子育て環境を否定することにはならないと考えている。



#### (岩田いくまの見解)

「質を落とすかどうか」という質問に対し、「否定にはならない」という答え。いかにも“お役所”らしいと思います。そもそも地域の身近な公園を利用している子供は、小学生や幼稚園児、乳幼児だけでなく、近隣の保育園児もお散歩先として利用しています。



### 緊急対策の定員

#### (岩田いくまの質問)

「緊急対策」にも関わらず、待機児童解消に必要な保育定員を**400名(\*)も上回る施設整備計画**になっている。これはどういうことか。

#### (区の方針)

定員数に若干の余裕分を含めた整備計画とした。

#### (岩田いくまの見解)

杉並区は、「このままでは来春(平成29年4月)に0~3歳児で最大565名の待機児童が見込まれる」との推計から、緊急対策として計1,141名分の追加整備を打ち出しました。

しかしながら、「最も多く見積もった待機児童数」より**400名(0~5歳向け施設で4園程度)も定員の余裕をもたせるために、身近な地域の公園を早急に廃止することが、果たして正しい施策でしょうか**。余裕分は1年延期して平成30年度開園を目指し、1年かけてどこに整備するか等、再検討すべきではないでしょうか。

(\*)まず0~3歳向け施設をつくれれば、待機児童は、「最大待機児童数565名」 - 「0~3歳向け施設定員319名」 = 246名となります。通常、0~5歳向け施設では定員の6割が0~3歳向けですので、0~3歳246名のために必要な0~5歳向け施設定員は、246×10/6=410名 となります。

つまり、0~5歳向け施設定員822名 - 上記410名 = 412名 が、余裕定員となります。

#### 緊急対策の施設別定員

0~3歳向け施設	319名
0~5歳向け施設	822名
計	1,141名

## 調査活動

### 保育への転用施設を視察

「待機児童解消緊急対策」が公表された翌日の**5月11日、会派所属議員全員(5名)で、保育施設に転用するとされた11の区立施設全てを視察**しました(右記参照)。

私自身、既によく知っている施設もありますが、初めて確認する施設もありました。現地を見ることで状況がよく理解でき、私なりに各施設の「保育施設への転用可否」について、考えをまとめることができました。また、実際に全てを回ってみることで、**今回の計画の地域偏在(区内北部と南西部に、かなり偏っている)**も実感しました。

なお、5月に行われた近隣説明会については、下記に参加しております(説明会自体が重複している日程もあり、全ては参加できませんでした)。

活用施設	説明会日時
高井戸みどり公園	5月18日(水) 18:30~
久我山東原公園(第1回)	5月21日(土) 16:30~
井草地域区民センター	5月22日(日) 16:30~
職員住宅久我山寮	5月24日(火) 18:45~
久我山東原公園(第2回)	5月29日(日) 18:00~

施設名	所在地
久我山東原公園(一部)	久我山5-12-27
向井公園	下井草3-13-7
高井戸みどり公園(一部)	高井戸西1-9-4
井草地域区民センター中庭	下井草5-7-22
天沼中学校隣接地	本天沼3-10-20
旧杉並中継所管理棟駐車場	井草4-15
土木材料置場	成田西3-8
善福寺だいかんやま公園	善福寺2-26-22
高齢者活動支援センター(一部)	高井戸東3-7-5
北公園緑地事務所資材等置場	下井草4-21-8
職員住宅久我山寮	久我山5-24-19



久我山東原公園



井草地域区民センター中庭

### 他都市への視察

杉並区では、今年度「施設再編整備計画」の改定を予定しており、また、中央図書館の大規模改修も計画されています。そうしたことから、4月25日(月)~26日(火)、岐阜市と静岡県へ会派視察を行いました。

#### < 岐阜市:みんなの森 メディアコスモス >

「みんなの森 メディアコスモス」は、中央図書館・市民活動交流センター・文化施設からなる複合施設です。

中央図書館としては、書架や書庫を効果的に使い分けることで、**利便性と蔵書数確保の両立**を図っていること等が参考となりました。

複合施設としては、「**中高生の居場所**」としての機能を果たしていること(「オン(図書館での勉強や読書)」と「オフ(交流センターでの友達との交流)」の両機能を同一建物内で実現)等が参考となりました。



#### < 静岡県:ファシリティマネジメント >



静岡県では、「土地・建物・設備等を経営にとって最適な状態で保有し、運営・維持するための管理手法」である「ファシリティマネジメント」の取組について伺いました。

個々の取組では、「会議室利用状況についての分析」が、**身近な施設の有効活用**という視点で参考となりました。



施設再編整備計画の改定にあわせて視察を行いました。ページ上段でとりあげたように、「緊急対策」の名のもとに計画外の施設の改廃が数多く行われるようでは、**そもそも「施設再編整備計画」への信頼が揺らぎます**。「臨機応変」な対応は必要ですが、「行政計画に対する信頼性」をどう考えているのかも、今後は問わねばならないと感じています。